

教職員の働き方もD E & I に

教職員の皆さんには、日々、真摯に教育活動に取り組んでいただいていますこと、心より感謝します。一方で、教職員一人一人の時間、体力、集中力には限りがあり、無理を前提とした働き方は、長期的に教育の質を維持することができません。

これまでも、先生方が創意工夫して、清明高校の働き方改革を進めてきていただいております。今後も一層「働きやすく・働き甲斐がある」職場とするためにも共通認識をもち、安心して意見を出し合える学校文化を継続したいです。

管理職としても、業務の精選や調整に責任をもち、皆さんの声を受け止めながら進めていきます。本趣旨をご理解の上、日々の業務に生かしていただきますようお願いいたします。

教職員の働き方D E & I を目指す 10 か条

- 1. 時間・体力・集中力には限りがあることを前提に計画する。**
残業を前提とした業務計画、働き方はしません。
 - 2. 「仕事」 = 「重さ」 × 「距離」**
持つものを「軽く」して「前に進む」よう仕事をクリエイトする。
 - 3. 業務改善は「なくす → 減らす → 変える」の順で考える。**
工夫や努力の前に、業務そのものを問い直す。
 - 4. 教職員の多様性を尊重する。**
どんな経験年数、雇用形態、家庭事情、健康状態でも共に働けるように。
 - 5. 情報共有が業務の効率化に効果的。**
二重の仕事はしないためにも、情報共有が重要です。
 - 6. 会議は「対話する」「考える」「決める」場とする。**
会議資料は事前に共有し、「聞くだけ・確認だけ」はせずにクリエイティブな場にする。
 - 7. 「言えばわかる」という前提に立たない。**
誰が読んでも理解できる資料・情報共有を基本とする。
 - 8. 勤務時間外に仕事を依頼しない、受け取らない。**
時間外は「自分だけの時間」です。
 - 9. サービス残業を行わない。**
「よかれ」と思った過剰サービスが、自分だけでなく皆の首を絞めることに。
 - 10. 一人で抱え込まず、気づいたこと・提案は共有する。**
働き方の改善は、組織全体で進める。
-